

# 令和元年度「社会に開かれた教育実践づくり」研修会

～ふるさとを元気にする地域学校協働活動を考える～

令和元年度長崎県社会教育関係者等スキルアップ連続講座

日 時：令和元年9月10日（火）10：00～15：45

会 場：長崎県教育センター 本館3階マルチメディア室

参加者：43名

学校教育と社会教育の関係者が会し、地域学校協働活動の内容や重要性、地域コーディネーター及び統括的コーディネーターの役割について理解すると共に、地域学校協働活動の具体的取組について考えることをねらいとして実施しました。

## 【内容】

### 事業説明

「長崎県の地域学校協働活動」長崎県教育庁生涯学習課

### 実践発表

- ①「魅力ある松原小学校に！」  
大村市立松原小学校 学校運営協議会
- ②「事務職員による地域学校協働活動（コーディネーター）の実践」  
元東彼杵町立彼杵中学校 学校コーディネーター

実践発表では、コミュニティ・スクール立ち上げから2年目までの具体的な取組や地域学校協働活動を行う中で事務職員がどのような役目を担ったのか、お話いただきました。

参加者からは、「コミュニティ・スクール立ち上げのプロセス等、参考にしていきたい。」「『動くこと』・『実践するためのアイデア』、どちらもこれからのキーワードだと思った。」などの感想が寄せられました。



## 演習

テーマ「学校と地域が連携協働して子どもを育てるために」長崎県教育庁生涯学習課

演習を通して、学校・地域・行政の立場から地域学校協働活動について考えました。

参加者からは、「それぞれの立場で子どものことを真剣に考えていることがわかった。」「学校としても、職員が地域の人・もの・ことに積極的に関わる仕組みを考えていきたい。」「同じ立場で考えを共有できてよかった。」などの感想が寄せられました。



## 講義

テーマ「子どもを育て『縁』を結ぶ

～これからの地域学校協働活動とコーディネーター～

全国体験活動ボランティア活動総合推進センターコーディネーター

昭和女子大学グローバルビジネス学部特任教授

コミュニティサービスラーニングセンター長 興梠 寛 氏

講義では、コーディネーターの役割やボランティア活動に対する考え方や実践するためのポイントを分かりやすくお話いただきました。また、木更津市の取組の具体を動画を交えながら説明され、参加者は、興梠氏の言葉にうなずきながら聞き入っていました。

参加者からは、「『志は高く、ハードルは低く』の言葉を心に留めて、活動していきたい。」「多様な方々との出会いの大切さを多くの人へ伝えていきたい。」「ボランティアやコーディネーターの役割、求められていくことが何か分かった。」「具体的な事例を仲間と共有し、実践につなげていきたい。」といった感想が寄せられました。

